

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 (教育学) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	姜 姫銀
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 韓国における大学入試政策と「公正性」に関する研究			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)	教授 中矢 礼美		
審査委員 (Name of the Committee Member)	教授 山田 浩之		
審査委員 (Name of the Committee Member)	教授 佐藤 暢治		
審査委員 (Name of the Committee Member)	専門職 田中 光晴		(文部科学省総合教育政策局調査企画課)
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、韓国における大学入試政策（以下「入試政策」）の変遷を「公正性」の観点から検討し、近年の入試政策の韓国的特質を究明したものである。</p> <p>論文の構成は、次のとおりである。</p> <p>序章では、韓国における大学院入試政策の変遷に影響を与えた社会的背景を描き、先行研究をもとに、「公正性」の観点から入試政策の検討が必要であることを説明し、研究課題を示した。</p> <p>第1章では、韓国の教育制度に抜本的な改革が始まった1945年から、近年の入試政策で常に議論的になる「学生簿総合選考」が導入される直前の2008年までの4期にわたる時期別入試政策の争点と課題を整理するとともに、そこにあらわれる入試改革の諸相を分析した。</p> <p>第2章では、現行の大学入試制度において、格差と「公正性」の問題の主たる火種となっている「入学査定官制度」に注目しながら、「李明博政府」と「朴槿恵政府」、「文在寅政府」における関連政策を比較・検討した。</p> <p>第3章では、現行の入試制度と関連して白熱した議論が行われた2017年と2018年の2度にわたる入試改革の試みを、それにあらわれる利害関係者間の葛藤の様相に注目しながら整理し、主要な議論の動向を把握した。</p> <p>第4章では、2018年の2度目の入試改革における政策決定過程で行われた「公論化」の一連の過程を、FishkinのDeliberative Pollingと照らし合わせ、段階を追いながら分析・考察した。</p> <p>第5章では、現行の大学入試をめぐる階層間格差の問題に注目して、格差の現状と是正のために講じられた政府政策の全容を概観し、その特徴の分析を試みた。</p> <p>第6章では、入試政策における首都圏と非首都圏間の地域間格差の現状を整理し、その是正に寄与することを目的とする政策として、非首都圏の「地域人材選考」と首都圏の「地域均衡選考」の導入過程および運営を概観し分析した。</p> <p>第7章では、現行の韓国の大学入試の中心的な選抜資料である「学生簿」による評価のあり方に注目して、主要大学とされるソウル市内の2つの大学の入試担当者への聞き取り調査と両大学の入学者募集要項の記載内容をもとに、個別大学の事例を通してその実態を明らかにした。</p> <p>第8章では、日本と韓国の近年の入試改革において多様な資質・能力を総合的に評価するための諸政策動向を概観し、入試政策における両国の課題の比較・分析から、日韓の入試改革における共通点と相違点を見出した。</p> <p>終章では、近年の入試政策における韓国的な特徴と、それに影響を与えた社会・文化的な諸要因</p>			

について「公正性」の観点から検討した結果をまとめた。

本論文は、次の3点で高く評価できる。

1. 韓国の入試制度について、歴史的な変遷とその背景を丁寧に説明しながら、体系的にまとめられている。
2. 近年の入試政策における韓国的な特徴と、それに影響を与えた社会・文化的な諸要因について、その理解において非常に重要な概念である「公正性」の観点から検討している。
3. 韓国における入試政策の変遷の特徴として、1) ダイナミックな展開と迅速性、2) 大学入試をめぐる利害関係者間の認識の相違と、政府による世論の積極的な収斂の試み、3) 教育学的ではなく国家・社会問題への対応としての入試改革、4) 入学者選抜の主体をめぐる国家と大学の主導権争い、という4点を明らかにしている。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（教育学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

令和 6年 2月 5日

備考 要旨は、A4版2枚（1,500字程度）以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed A4 size, 2 pages (about 500 words).)